

# 源氏物語と京都

- 千年の文化 -

主催 / 京都商工会議所・京都能率協会

今年、『紫式部日記』に『源氏物語』のことが記された寛弘5年(1008)からちょうど千年に当たります。なぜ源氏物語はこれほど長きにわたって愛されたのでしょうか。単に最古の長編小説というだけで愛され続けたわけではありません。今回は、源氏物語に描かれた千年前の京都の風景と、庶民に源氏物語を普及させた京都の出版文化という二つの切り口から、源氏物語の千年と京都との深い関わりについてお話しいたします。是非ご参加いただきますようご案内申し上げます。

## 1. 源氏物語に描かれた京都

- 1) 源氏物語の舞台
- 2) 風景と物語構想
- 3) 「みやび」とは

## 2. 源氏物語を出版した京都

- 1) 源氏物語の大衆化
- 2) 絵入り版本の流行
- 3) 京都から江戸へ



慶安3年(1650) 絵入り版本『源氏物語』薄雲巻  
(清水婦久子氏蔵)

講演内容は変更の可能性があります。

### 開催日程

平成20年4月27日(日)

13:00 ~ 15:00

### 受講料

2,000円(レジュメ・参考文献を含む)

### 定員

100名(定員になり次第締め切ります)

### 講師

清水 婦久子 氏 帝塚山大学 教授

### 会場

京都商工会議所 (地下鉄烏丸線 丸太町駅南側6番出口すぐ)

### 清水 婦久子 氏 プロフィール

大阪女子大学大学院文学研究科国語学国文学専攻(修士課程)修了。大阪大学博士(文学)。帝塚山短期大学講師、助教授を経て、現在、帝塚山大学教授。平安文学とくに源氏物語および源氏物語享受史の研究。

主要な著書に、『源氏物語の風景と和歌』(和泉書院)、『源氏物語版本の研究』(和泉書院)、『絵入源氏』桐壺巻・夕顔巻・若紫巻(おうふう)など多数。

1998年に第5回関根賞受賞。同年より中古文学学会委員、2003年より関根賞運営委員。現在、京都文化博物館「源氏物語千年紀展」企画委員。

### 京都検定講習会特別プログラムとは…

「テキストで学んだ内容をもっと深めたい」「特定のテーマで専門的な話を聞きたい」という声にお応えして開催するプログラムです。毎回テーマを設定し、その分野の第一人者の方からご講演いただきます。より深く、楽しく京都のことを学びたい方に最適のプログラムです！

# 平家物語の舞台

## - 六波羅と西八条 -

主催 / 京都商工会議所・京都能率協会

『平家物語』は、平家一門の興隆と没落を描いた軍記物語であり、仏教的無常観などをうかがうことができます。源平の合戦が繰り広げられた 12 世紀後半、政治の中心であった京都には源平関係の史跡が今も数多く残されていますが、特に平家一門が屋敷を構えた六波羅や西八条の地は、物語の舞台としてしばしば登場するだけでなく、政治拠点として極めて重要な意味を持ちました。今回はこのような『平家物語』に登場する地を、他の同時代史料を踏まえて取り上げ、源平争乱期における京都の実像に迫ります。是非ご参加いただきますようご案内申し上げます。

- 1 . 猛き者の滅び
- 2 . 六波羅
- 3 . 西八条
- 4 . 福原
- 5 . 九条河原



覚一本『平家物語』巻一冒頭  
(龍谷大学図書館蔵)

講演内容は変更の可能性があります。

### 開催日程

平成20年5月24日(土)  
13:00 ~ 15:00

### 受講料

2,000円(レジュメ・参考文献を含む)

### 定員

100名(定員になり次第締め切ります)

### 講師

上横手 雅敬 氏 京都大学 名誉教授

### 会場

京都商工会議所 (地下鉄烏丸線 丸太町駅南側6番出口すぐ)

### 上横手 雅敬 氏 プロフィール

1931年生まれ。京都大学文学部史学科卒業。京都大学教授、龍谷大学教授、皇學館大学教授を経て、現在京都大学名誉教授。文学博士。

日本中世史を研究。『日本中世政治史研究』(塙書房)、『鎌倉時代政治史研究』(吉川弘文館)、『北条泰時』(吉川弘文館)、『源平の盛衰』(講談社学術文庫)、『平家物語の虚構と真実』(塙書房)、『源義経』(平凡社ライブラリー)、『鎌倉時代 その光と影』(吉川弘文館)、『日本史の快楽』(角川ソフィア文庫)ほか著書多数。日本歴史学会評議員。

京都検定講習会特別プログラムとは…

「テキストで学んだ内容をもっと深めたい」「特定のテーマで専門的な話を聞きたい」という声にお応えして開催するプログラムです。毎回テーマを設定し、その分野の第一人者の方からご講演いただきます。より深く、楽しく京都のことを学びたい方に最適のプログラムです！

# 明恵上人と高山寺

主催 / 京都商工会議所・京都能率協会

「山の端にわれも入りなむ月も入れ 夜な夜なごとにまた友とせむ」(『明恵上人歌集』) 月をこよなく愛した明恵上人は、お釈迦さまを慕ってインド渡航を志し、また「阿留辺幾夜宇和(あるべきようわ)」と「あるべきように生きること」を説いて、仏教では煩惱とされる愛を肯定するなどした鎌倉時代を代表する思想家の一人です。今回は明恵上人の生き方や思想、美意識を、当時の史料や美術品を通じて取り上げ、上人の魅力や上人が生きた時代の仏教の姿に迫ります。是非ご参加いただきますようご案内申し上げます。

1. 明恵上人の生涯
2. お釈迦さまを慕う
3. 高山寺の創建
4. 明恵上人と法然上人
5. 女性と仏教



紙本着色明恵上人像(高山寺蔵 国宝)

講演内容は変更の可能性があります。

## 開催日程

平成20年6月28日(土)

13:00~15:00

## 受講料

2,000円(レジュメ・参考文献を含む)

## 定員

100名(定員になり次第締め切ります)

## 講師

西山厚氏 奈良国立博物館 学芸部長

## 会場

京都商工会議所(地下鉄烏丸線 丸太町駅南側6番出口すぐ)

## 西山厚氏 プロフィール

1953年生まれ。京都大学大学院文学研究科博士課程修了。現在、奈良国立博物館学芸部長、奈良女子大学客員教授。

主な著書に、『仏教発見!』(講談社現代新書)、『僧侶の書』(至文堂)、『平城京 その歴史と文化』(共著/小学館)など。

日本の歴史・思想・文学・美術をトータルに見つめ、書き、生きた言葉で語る活動を続けている。

京都検定講習会特別プログラムとは…

「テキストで学んだ内容をもっと深めたい」「特定のテーマで専門的な話を聞きたい」という声にお応えして開催するプログラムです。毎回テーマを設定し、その分野の第一人者の方からご講演いただきます。より深く、楽しく京都のことを学びたい方に最適のプログラムです!

# 応仁の乱と京都

主催 / 京都商工会議所・京都能率協会

応仁の乱の顛末を描いた軍記物語『応仁記』には、「花ノ都、今何ソゾ、狐狼ノ臥土トナラントハ、… 応仁ノ一変ハ王法仏法トモニ破滅シ、諸宗皆悉ク絶ハテヌル」と記されています。花の都が狐狼の住処となり、政治や宗教の権威が地に落ちるきっかけとなったこの乱は、将軍足利義政の跡継ぎ問題や斯波・畠山両管領家の相続争いなど、いくつかの要因が複雑に絡み合っただけで起こった未曾有の大乱でした。今回は、乱勃発の経緯や実態、その影響などを当時の史料を通じて取り上げ、京都の歴史における応仁の乱の意義をお話いただきます。是非ご参加いただきますようご案内申し上げます。

- 1 . 足利義政
- 2 . 乱の実態
- 3 . 構
- 4 . 上京・下京
- 5 . 後土御門天皇



伝足利義政像（伝土佐光信筆 室町時代 重要文化財）

講演内容は変更の可能性があります。

## 開催日程

平成20年7月19日（土）

13:00～15:00

## 受講料

2,000円（レジュメ・参考文献を含む）

## 定員

300名（定員になり次第締め切ります）

## 講師

川嶋 将生 氏 立命館大学 教授

## 会場

京都商工会議所（地下鉄烏丸線 丸太町駅南側6番出口すぐ）

## 川嶋 将生 氏 プロフィール

1942年生まれ。立命館大学文学部卒業。京都市史編纂所、立命館大学文学部教授などを経て、現在、同大学特命教授。

日本中世から近世の文化を研究。主な著書に『中世京都文化の周縁』（思文閣出版）、『図説上杉本 洛中洛外図屏風を見る』（共著 河出書房新社）『洛中洛外の社会史』（思文閣出版）、『室町文化の展開』（法政大学出版局）など。

## 京都検定講習会特別プログラムとは…

「テキストで学んだ内容をもっと深めたい」「特定のテーマで専門的な話を聞きたい」という声にお応えして開催するプログラムです。毎回テーマを設定し、その分野の第一人者の方からご講演いただきます。より深く、楽しく京都のことを学びたい方に最適なプログラムです！

# 京都の近代化遺産とその魅力

主催 / 京都商工会議所・京都能率協会

京都は平安京以来の歴史に培われた「古都」であるとともに、明治・大正・昭和戦前期の都市計画によって生みだされた建築物が数多く残る「モダン都市」でもあります。平成 11 年(1999)から 4 年間にわたって京都市が実施した調査によって、明治期以降の産業遺産や近代建築の全貌が明らかになってきました。また平成 19 年(2007)には、経済産業省が、幕末から終戦にかけての日本の産業発展に貢献した工業跡や港湾、鉱山などを「近代化産業遺産」に認定するなど、近代化遺産に注目が集まっています。今回は京都の近代化遺産の研究・調査に長年携わってきた専門家を招き、その意義や魅力をお話いただきます。是非ともご参加いただきますようご案内申し上げます。

1. 京都の公共建築について
2. 京都の住宅建築について
3. 京都の近代化遺産と制度について
4. 京都の近代化遺産とその魅力  
(パネルディスカッション)



京都府庁舎旧日本館 (重要文化財)

明治 37 年(1904)建設。ルネサンス様式を基調とする意匠の完成度は極めて高く、全国の庁舎建築の手本とされた。松室重光・久留正道設計。

## 開催日程

平成 20 年 8 月 30 日(土)  
13:00 ~ 16:00

## 受講料

2,000 円

## 定員

300 名(定員になり次第締め切ります)

## 講師

石田 潤一郎 氏 京都工芸繊維大学 教授

中川 理 氏 京都工芸繊維大学 教授

石川 祐一 氏 京都市文化財保護課  
技師・建造物担当

## 会場

京都商工会議所(地下鉄烏丸線丸太町駅 6 番出口)

## 石田 潤一郎 氏 プロフィール

1952 年鹿児島市生まれ。京都大学工学部建築学科卒業。同大学院博士課程修了。工学博士。京都大学助手、滋賀県立大学助教授を経て、2001 年より京都工芸繊維大学大学院教授、工芸科学研究科造形工学部門所属。建築史学会賞、日本建築学会賞を受賞。主な著書に『都道府県庁舎』(思文閣出版)、『関西の近代建築』(中央公論美術出版)などがあり、また中川教授とともに『近代建築史』(昭和堂)を編集した。

## 中川 理 氏 プロフィール

1955 年横浜市生まれ。京都大学工学部建築学科卒業。同大学院博士課程修了。工学博士。1992 年より京都工芸繊維大学助教授。現在、同大学院工芸科学研究科造形工学部門教授。専門は近代建築史・都市史。著書に『重税都市-もうひとつの郊外住宅史-』(住まいの図書館出版局・日本都市計画学会奨励賞)、『偽装するニッポン』(彰国社)、『京・まちづくり史』(昭和堂・共編著)、『京都モダン建築の発見』(淡交社)などがある。

## 石川 祐一 氏 プロフィール

1967 年東京都生まれ。岡山大学文学部史学科卒業。京都府立大学大学院生活科学研究科修士課程修了。1997 年より京都市文化財保護課文化財保護技師(建造物担当)。専門は近代建築史。著書に『近代建築の夜明け 京都熊倉工務店 - 洋風住宅建築の歴史』(淡交社)、『近代建築遺産の継承 日仏都市会議 2003』(鹿島出版会、共著)などがある。

上記 3 氏が中心となって昨年暮れに『京都の近代化遺産』(淡交社)がまとめられた。

## 京都検定講習会特別プログラムとは・・・

「テキストで学んだ内容をもっと深めたい」「特定のテーマで専門的な話を聞きたい」という声にお応えして開催するプログラムです。毎回テーマを設定し、その分野の第一人者の方からご講演いただきます。より深く、楽しく京都のことを学びたい方に最適のプログラムです！

# 百人一首から見た王朝文化史

主催 / 京都商工会議所・京都能率協会

百人一首には百人の歌人が集合しているので、そこに自ずから王朝文化史も形成されることになります。特に巻頭と巻末に親子天皇を配しているのは、平安時代の天皇制への憧憬が表出しているためと解釈できます。百人一首という作品を見直す意味を含めて、百人一首の中に潜む問題点をいくつかとりあげ、そこから京都を再確認していきます。是非ご参加いただきますよう、ご案内申し上げます。

1. 紫式部の顔は誰も知らない  
(歌仙絵について)
2. 紀貫之の「ふるさと」はどこか
3. 「ならの小川」を求めて
4. 藤原定家の時雨亭の由来



探幽筆紫式部(小野小町の転用)(江戸時代)

講演内容は変更の可能性があります。

## 開催日程

平成20年9月20日(土)  
13:00~15:00

## 受講料

2,000円(レジュメ・参考文献を含む)

## 定員

300名(定員になり次第締め切ります)

## 講師

吉海直人氏 同志社女子大学 教授

## 会場

京都商工会議所 (地下鉄烏丸線 丸太町駅南側6番出口すぐ)

## 吉海直人氏プロフィール

1953年生まれ。國學院大學卒業。同大学院博士課程修了。博士(文学)。国文学研究資料館文献資料部助手を経て、現在、同志社女子大学学芸学部教授。

専門は平安朝の物語と和歌、特に源氏物語と百人一首を研究の両輪としている。

源氏物語千年紀委員会の源氏物語ショートストーリーを担当。小倉百人一首文化財団評議員。

著書に『百人一首への招待』(ちくま新書)、『だれも知らなかった百人一首』(春秋社)、『「垣間見」る源氏物語』(笠間書院)などがある。

京都検定講習会特別プログラムとは…

「テキストで学んだ内容をもっと深めたい」「特定のテーマで専門的な話を聞きたい」という声にお応えして開催するプログラムです。毎回テーマを設定し、その分野の第一人者の方からご講演いただきます。より深く、楽しく京都のことを学びたい方に最適のプログラムです！

# 都林泉名勝図会と京都発見

主催 / 京都商工会議所・京都能率協会

18世紀後半に登場した名所図会は、迫力ある大画面の挿絵をふんだんに使った新しいスタイルの出版物でした。これまでにない画期的な体裁の図会によって町や風景の魅力が「発見」されました。寛政11年(1799)に刊行された『都林泉名勝図会』を素材にして、特にその京都「発見」の実力と名所図会のもつ魅力を考えます。是非ご参加いただきますようご案内申し上げます。

1. 名所図会の登場
2. 新しいメディア
3. 都林泉名勝図会の技
4. 町・風景の魅力  
- 京都発見 -



秋里籬島著『都林泉名勝図会』巻之二 銀閣寺林泉

講演内容は変更の可能性があります。

## 開催日程

平成20年10月25日(土)  
13:00~15:00

## 受講料

2,000円(レジュメ・参考文献を含む)

## 定員

300名(定員になり次第締め切ります)

## 講師

白幡 洋三郎氏 国際日本文化研究センター 教授

## 会場

京都商工会議所 (地下鉄烏丸線 丸太町駅南側6番出口すぐ)

## 白幡 洋三郎 氏 プロフィール

1949年大阪府生まれ。京都大学農学部林学科卒業。同大学院在学中、西ドイツ・ハノーファー工科大学(当時)に留学。

西洋の都市計画史、庭園史を研究。京都大学農学部助手などを経て現職。日本・ヨーロッパ・アジアの都市文化の比較研究に関心がある。

主な著書に、『近代都市公園史の研究』(思文閣出版)、『旅行ノススメ』(中公新書)、『花見と桜』(PHP研究所)、『庭園の美、造園の心』(NHKライブラリー)、『人はなぜ花を愛でるのか』(編著・八坂書房)、『都林泉名勝図会』

(上・下:解説・監修、講談社)などがある。

## 京都検定講習会特別プログラムとは…

「テキストで学んだ内容をもっと深めたい」「特定のテーマで専門的な話を聞きたい」という声にお応えして開催するプログラムです。毎回テーマを設定し、その分野の第一人者の方からご講演いただきます。より深く、楽しく京都のことを学びたい方に最適のプログラムです！

# 江戸時代の画壇

- 御用絵師と町絵師 -

主催 / 京都商工会議所・京都能率協会

慶長8年(1603)江戸に幕府が開かれました。政治の中心地として江戸という町が成立したわけですが、京都は平安時代以来の皇都として幕末までその力を維持していました。江戸時代 250 年はこうした江戸と京都の、町の二極化現象の中で展開していきます。

今回はこの都市の二極化現象の中で、江戸時代の画壇がどのように成立し、展開していったのかを見てみることにします。

1 . 政都江戸と皇都京都

2 . 武家・公家・町衆

3 . 御用絵師と町絵師



洛中洛外図屏風(江戸時代 京都国立博物館蔵)

講演内容は変更の可能性があります。

## 開催日程

平成20年11月22日(土)  
13:00 ~ 15:00

## 受講料

2,000円(レジュメ・参考文献を含む)

## 定員

300名(定員になり次第締め切ります)

## 講師

佐々木 丞平氏 京都国立博物館 館長

## 会場

京都商工会議所 (地下鉄烏丸線 丸太町駅南側6番出口すぐ)

## 佐々木 丞平氏 プロフィール

1941年生まれ。京都大学文学部卒業。同大学院文学研究科博士課程単位取得退学。

京都府教育委員会事務局技術職員、文化庁文化財保護部美術工芸課文化財調査官、京都大学文学部教授等を経て、現在、京都国立博物館長、独立行政法人国立文化財機構理事長。

専門は日本近世絵画史。著書に『与謝蕪村』(至文堂)、『池大雅』(集英社)、『円山應舉研究』(中央公論美術出版)、『古画総覧 円山四条派系 1~6』(国書刊行会)などがある。

平成9年國華賞(1997)、日本学士院賞(1999)、フンボルト賞(2000)をそれぞれ受賞。

京都検定講習会特別プログラムとは…

「テキストで学んだ内容をもっと深めたい」「特定のテーマで専門的な話を聞きたい」という声にお応えして開催するプログラムです。毎回テーマを設定し、その分野の第一人者の方からご講演いただきます。より深く、楽しく京都のことを学びたい方に最適のプログラムです！